



果実とやすらぎの里・仁木町

Niki

議会だより にき

ぶち通信

6月議会号

2026.6.23

発行／仁木町議会

編集／議会広報編集特別委員会

〒048-2492

北海道余市郡仁木町西町1丁目36番地1

☎ 0135-32-3954 📠 0135-32-3963

✉ gikai02-niki@town.niki.hokkaido.jp



第2回定例会 6月25日(木)開会

第2回定例会は、6月25日から26日までの2日間の会期で開催されます。

定例会には、町から報告1件、議案8件、同意12件、諮問1件が提案され、議会から意見書3件を提出しています。

令和8年第2回定例会で審議する議案

報告第1号	令和7年度仁木町緑越明許費緑越計算書の報告について
議案第1号	令和8年度余市郡仁木町一般会計補正予算（第2号）
議案第2号	令和8年度余市郡仁木町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第3号	令和8年度余市郡仁木町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第4号	特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例の特例を定める条例の制定について
議案第5号	仁木町税条例の一部を改正する条例制定について
議案第6号	仁木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
議案第7号	大江辺地に係る総合整備計画の変更について
議案第8号	財産（動産）の取得について
同意第1～12号	仁木町農業委員会委員の任命について
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
意見案第1号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
意見案第2号	殺傷能力を有する武器輸出の容認撤回を求める意見書
意見案第3号	急騰する奨学金の金利に対する負担軽減を求める意見書

傍聴される方へのお願い

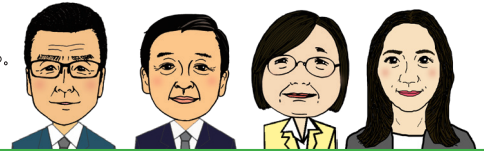
- 議場に入る前に、必ず「傍聴人受付票」に氏名と住所を記載し、回収箱に入れてください。
- 携帯電話・スマートフォンは電源を切るか、マナーモードに設定し、音が出ないようにしてください。
- 席には限りがあります。満席の場合は立ち見となりますので、あらかじめご了承ください。

↓↓ 一般質問は裏面にあります ↓↓

一般質問

25日午前10時ごろから

今回は私たちが
質問をします！



町政のここが聞きたい！

佐藤 秀教 議員	防災における課題とその解決策は
内 容	自治体の防災における主な課題として、「迅速な情報伝達」、「高齢化による避難行動要支援者への対応」、そして「慢性的なマンパワー・予算不足」が挙げられるが、これらの課題解決に向けた効率的な業務運営の実現について、町長の見解は。 ①災害発生時における状況の正確な把握と適切なタイミングでの住民への情報伝達は、防災対策の根幹を成す重要な要素であるが、その情報収集及び伝達方法は。②災害時に自力避難が困難な「避難行動要支援者」の対応は。③本町の複合災害を想定した取組状況はどうなっているのか。④自治体の防災担当部署におけるマンパワー不足と業務の効率化について、本町の現状は。
野崎 明廣 議員	本町の観光施策について
内 容	フルーツパークは、建物の経年劣化や多様化する観光スタイルの変化、後志自動車道の延伸に伴い、施設の設置目的に沿った機能を持続させ、経年劣化に対応した大規模修繕を実施するため、3年間休園するが、休園を踏まえ、本町の観光施策について、町長の見解は。 ①フルーツパークを体験型・交流型・滞在型観光拠点として再構築するという方針を打ち出しているが、現時点でのそれぞれ具体的な構想は。また、集客数や車両導線の確保についての対策は。②来年度以降のイベント開催場所は。また、知らずに来園した観光客への対策は。③観光管理センターの将来像について、町長の見解は。
上村智恵子 議員	国民健康保険税について
内 容	子ども・子育て支援金制度の創設により、子ども・子育て施策の給付は増えるが、全ての世代が拠出する制度であることから、国民全体の社会保障は良くなり、子育て世帯の負担が増えるのは納得がいかない。子ども・子育て支援金分の18歳未満は均等割が0円であることから、医療分・後期分、介護分の3区分についても、18歳未満のこどもは均等割を全額軽減すべきと考えるが、町長の見解は。
上村智恵子 議員	景観条例について
内 容	令和4年第1回定例会の一般質問において、景観条例の策定についての質問に対し、「次年度において、他市町村の優良事例について研究を行うほか、北海道との連携や支援を受け、本町に適した景観条例のあり方について検討してまいりたい。」と答弁されていたが、その後どうなったのか。 また、第6期仁木町総合計画に記載されている、景観の整備に関する主な施策「景観条例の制定及び景観計画の策定に向けた検討」、「景観行政団体への移行検討」、「景観に関する町民意識の醸成」、「景観の維持保全活動を目的としたまちづくり活動への支援」、これらの4項目の進捗状況は。
前田 春奈 議員	子どもたちの交流機会の拡充について
内 容	地方で暮らす子どもたちにとって、町外や道外、さらには海外の人々との交流は視野を広げ、将来の可能性を考える貴重な経験になる。仁木町の未来を担う子どもたちが、様々な経験を通じて成長できる環境づくりが必要であると考え、子どもたちの交流機会の充実について、町長の見解は。 ①児童・生徒を対象とした交流事業や体験学習の実績は。また、これらの事業の成果と課題は。②町外や道外の学校・自治体との交流機会を拡充する考えは。

◆定例会日程

1日目 6月25日（木）午前9時30分から
仁木町役場庁舎3階 議場

※2日目は進行状況により決定されますので、議会事務局までお問い合わせを！